



やっさもっさ



2007年8月25日 Vol.349

みたか きいたか♪ 浮城物語 2007

第32回 三原やっさ祭り 開催!



やっさ踊り入賞チーム紹介

3年連続!!

土曜日

優勝「やっさ大賞」
三原市医師会病院
準優勝「準やっさ大賞」
特定医療法人 大慈会 三原病院



金曜日

創作大賞 **みたか連**

創作やっさ賞
お祭りスタジオアイ・ウィル土居写場
新人賞 TANE' NDS

- 3位 実行委員会賞 三原市役所
- 4位 和田町 やっさ会
- 5位 白竜やっさの会
- 6位 三原高校 (柏葉っ子)
- 7位 西小踊ろう会
- 8位 共住版宅配グループ
- 9位 久井町江木区 やっさ会
- 10位 (株)DNPプレジジョンデバイス
- 町内会大賞 和田町 やっさ会
- 子どもやっさ大賞 西小踊ろう会
- 子どもやっさ賞 糸崎小ふれあいチーム
- キラリ賞 港町子ども会
- スマイル賞 三原小4年 レインボー隊

第32回 三原やっさ祭り 実行委員長よりご挨拶

来年もやっさ祭り いくぞー!



第32回 三原やっさ祭り実行委員会
実行委員長 平野 裕輔

第32回三原やっさ祭りを、8月10・11・12日の3日間、無事盛大に開催することが出来ました。これもひとえに市民の皆様をはじめ関係各位の絶大なるご協力・ご尽力いただいた賜物と、深く感謝いたしております。

本年度は3日間通して天候にも恵まれ、30万人を超える多くの観客の皆さんに「三原やっさ踊り」、そして「やっさ花火フェスタ」を楽しんでいただき、素晴らしい「三原やっさ祭り」が開催できたことを、実行委員会を代表致しまして心より厚く御礼申し上げます。



本年度第32回三原やっさ祭りのキャンペーンテーマは「みたかきいたか♪浮城物語2007」でした。みたかきいたか、の「観る」という観点から、本年度は踊りコースの抜本的な見直しをはかったと共に、レッドカーペットを敷いての隆景ステージの設置、創作やっさ部門設立など、総合的な踊りのレベルアップをはかり、踊り手だけではなく同時に観客が楽しめる祭りを目指しました。そして、みたかきいたか、の「聴く」という観点から「三原やっさ踊り唄」そして「ダンスリミックス」をレコーディングしてのCD発売、会場内のスピーカーの変更や、携帯電話での着信音化などにも取り組みました。

そして、やっさ祭りにボラティアとして運営にご協力いただいた、たくさんの皆様の努力によって、私たちの祖先が440年もの長い間大切にしてきた“やっさ踊り”をしっかりと継承し、伝統ある“踊り”を軸にしながら、踊り手と観客が共鳴しあい、一体感と感動を実感していただけるような「やっさ祭り」となったものと自負しております。

最後になりますが、今後とも三原やっさ祭り実行委員会に対しまして、皆様方の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

第32回 やっさ祭り実行委員会メンバー

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
実行委員長	平野 裕輔	(社)三原青年会議所	やっさグッズ委員長	澤井 清子	三原市女性会連合会
副実行委員長	小玉 弘尊	三原市観光文化課	花火委員長	隅本 秀明	三原商工会議所
	中川 正巳	(社)三原観光協会	屋台村委員長	長尾 正	広島県飲食業生活衛生同業組合
	谷口 邦夫	三原市商栄会連合会	ステージ委員長	徳永 素久	三原やっさ祭り協賛行事連絡協議会
	藤原 聖士	三原商工会議所	協賛行事委員長	安田 佳宏	三原やっさ祭り協賛行事連絡協議会
	藤井 正教	三原やっさ祭り協賛行事連絡協議会	アドバイザー	今田 毅	三原やっさ踊り振興協議会
人にやさしい祭り委員長	岡田 真理	三原市社会福祉協議会		熊谷 貞和	三原やっさ踊り振興協議会
やっさ踊り委員長	佐藤 協二	(社)三原青年会議所	事務局長	松葉 弘	(社)三原青年会議所
安全対策委員長	小林 正典	(社)三原青年会議所	事務局次長	三好 慎一	(社)三原青年会議所
みらい継エコロジー委員	安藤 志保	ネットワーク「みどりのはらっぱ」	セクレタリー	富田 伸博	(社)三原青年会議所
宣伝広報委員長	山本 隆司	(社)三原観光協会		花田 章浩	(社)三原青年会議所



みたかきいたか

日本の歴史について私たちはどれだけの事を知っているのだろうか？私は学生時代不思議に思ったことがある。歴史は好きな方だったが、いつもある年代になると疑問に感じていた。それは、近現代の歴史になるとブラインドに隠されているのかの様に見え

ない部分が多くなっていくことだ。◆中国政府が激しく批判している靖国参拝、南京大虐殺、慰安婦問題等、私たちの歴史の一部であるにもかかわらず、マスメディアで報道されて、そうなの？そうなんだ？と感じること自体、私たちは自分の住む国の歴史を勉強していない(知らない)ことに気付かされる。◆日本が戦争をす

る事になった理由や、戦争をした事で日本がどのような事をしてきたのか等、若い世代の私たちは、真実を答えることができないであろう。国際社会になるにつれ、まずは、私たちの住む国の歴史をしっかりと知ることが必要な時代になってきているといえる。◆テストに出題される事だけ勉強すれば良いわけではない「国家100年の

計は教育にあり」と言われるほど教育は大切なことから、今一度、敗戦後、占領下で作られた教育基本法を見直し、真の教育を考えてほしい。◆今年で、戦後62年経つが、戦争を繰り返さないためにも、我々若い世代が歴史を再確認し、次の世代の子ども達へと伝えてゆきたい。